

● 今月のテーマ
春が来ました！

花見の季節がやってきました。この時期になると「どて」の方に足を向けたくなりますよね。

花見といえば桜ということになってますが、江戸時代以前は春の花といえば梅を指すことが多かったようです。そういえば平安時代以前の和歌などで単に「花」とあった場合、多くは梅を指してますね。

ウメの語源は中国語の「梅」(マイ)あるいは「梅」といわれています。伝来当時の日本人は、単独の「梅」で始まる発音ができなくて、前に「目」を付けて「ume」(ンメ)とし、やがて「me」が「me」に変化して「ume」になったとか。

花を観賞するほか、果実を梅酒や梅干しにする。その梅干しを炊き込みご飯の「具」として食べてみてはどうでしょう？お米3合+大粒の梅干し3個+昆布2×2センチ。お好みでしらす、ごま、鰹節を掛けて、おいしく召し上がってください。



ほかほか陽気ですから家の外での遊び方の提案。またまたちょっと昔の知恵を引っ張り出し、家族で遊ぶ準備からはじめましょう！

家の外の遊び

※竹トンボの作り方※

①羽根を作ります
なた等で下の絵の寸法に切り取り

切り出しナイフで
切らず

中心の取り方

横から見た断面

②キリで直径2ミリ
くらいの回転ぼうを通す穴を二つ開ける

③頑張って
「ぼう」をつくる

④完成！！後は遊ぶだけ！

羽根への差込部分はゆるめにつくります

⑤こんな竹トンボもあり！

太めの竹を輪切りにします

穴は軸よりふたまわり大きめにハンドドリルで穴をあける

わりばし

たこ糸

わざり

家のまめ知識コーナー

★排水管が詰まった！★

最近「生活排水の具合が悪い」との連絡が続いたのでその関連でのまめ知識コーナーにします。
まず「いつでやっつけてみてください。」

流しに水をはった状態で吸引カップを押し当て勢い良く引き上げる手順を繰り返す。しばらくやっても通らない場合、疲れてイヤになる一歩手前であきらめ、いづみ建設へご連絡ください。社員がお邪魔させて頂きます。



つまりの原因のほとんどは「油」です。大物を流さないのは鉄則ですが、油は配水管に流れると「管内側にへばりついては固まって、それが上塗りされて行き、ついには管が詰まってしまうわけです。全く流すなどいうのも無理な話で少しずつはどうしても付着していつてしまうものです。

・簡単に解決！

半年に一回くらい薬剤を使って洗い流しましょう。

夜、お皿を洗った後に排水栓に薬剤を流し込み翌朝適当に水で流すだけ。これで付着によるつまりは起こらなくなりま



す。ホームセンター等で売っています。是非、お試しを！

編集後記

花粉症と永遠に「おちらばざる」かも??

ぬぬぬ、結構うつとおしいですよ、スギ花粉！毎シーズンこうかと思うとげんなりです。鼻の下 かびかびでもお客様の前では笑顔です！そんな描写がまた いとおかし。この状況を打開すべく、9月頃からそんな花粉症を根本的に治してくれる(有効率90%と聞きます)免疫療法(減感作療法)に取り組んでみようと思ってます。

免疫療法とは定期的にスギ花粉エキスの注射を打って体に免疫を人工的につくって症状をなくす治療法のことらしいです。手順は次の通り。

- ① まず、本当にスギ花粉アレルギーかどうかを調べます。
 - ② シーズンオフからその人にあつた治療濃度でエキス希釈液を、最初は週に1回ないし2回程度注射します。
 - ③ エキスの濃度を徐々に上げて行き、一定量になったら月一度の注射にします。
 - ④ 月に一度の注射を一年ないし2年続ければ完治致します。
 - ⑤ 費用は医療保険で可能です。
- 自分は医師ではないので興味のある方は近くのお医者さんに聞いてください。。。 あっ、鼻水が気付かないうちに。。。 失礼しました。

編集担当 岡田 友子・大塚 崇
発行 いづみ建設株式会社
発行日 平成十七年四月 一日
360-0813 熊谷市円光一―一三三三
048(521)3313
info@izumi-kensetsu.co.jp